

東北大学歯学部

**Tohoku University
School of Dentistry**



さあ、新しいインターフェイスの可能性を開け
世界の歯学をリードする独自の教育カリキュラムで口腔健康科学を学ぶ



2023

東北大学歯学部

Tohoku University
School of Dentistry



古くから続く日本の歯科医療、 今世界が目にする 最先端の歯学を学び、 口腔科学者・歯科医師を 育成します。

東北大学歯学部で求める人物 (アドミッションポリシー)

歯学部の教育目標は、単に歯科医師の養成にとどまらず、論理的な思考力を身につけ、各分野で指導的立場となる人材を育成することにある。歯科医学の知識や技能を十分に修得できる基礎学力を有する人、問

題解決や知識追求に対する意欲を持ち常に前向きに考え行動する資質を有する人、幅広い視野と柔軟な感性を有する人、医療に携わるものとして豊かな人間性を備えた人を求めている。



世界と日本の歯学の歴史

18世紀、ヨーロッパで“近代歯科医学の父祖”といわれるピエール・フォーシャルによって総入れ歯や歯石除去などの近代的な歯科治療が行われ、19世紀に入るとアメリカでは現代に近い歯科医療が始まったといわれます。ちなみに、アメリカにはジョージ・ワシントンの義歯が残さ

れていますが、日本では、それより古い16世紀後半につくられた木床義歯が、発見された最古の義歯として残されています。それを見る限り、日本の歯科医療技術が高い水準にあったことがうかがわれます。

1854年に日米和親条約が結ばれ、下田、函館が開港されるとともに外国人が渡来するようになりました。1860年には、アメリカ人ウィリアム・クラーク・イーストレイキーが横浜で歯科医院を開業。アメリカの歯科医

師を通じて、欧米の近代的歯科医療に直接触れることができるようになりました。

そして1800年代末から1900年代初めにかけて、日本でも歯科医学校が設立され、歯科医師法が整備され、歯科医学会、歯科医師会が発足し、歯学が確立されたのです。黎明期、野口英世は高山科学院で給仕をしながら学び、後には講師となって講義を行ったというエピソードも残っています。

1965年、東北大学歯学部発足

このような流れの中では、1965年に発足した東北大学歯学部の歴史は比較的新しいものです。しかし、その誕生、発展は「一口腔一単位」、「全人的歯科医療」の理念のもと、独自の

ものでした。この理念を診療体系に持ち込むと、様々な専門的視点からの診断・治療方針を総合的に取捨選択しなければなりません。欧米には、例えば「I have four dentists」という言葉があります。歯科の専門化が進み、「4」は「プライマリーケア（口腔ケア）」「口腔外科」「補綴（歯の修復）」「エンドデンティスト（神経の

処置）」のそれぞれの専門歯科医を指しています。つまり、歯学とは、様々な視点から顎口腔領域の健康と疾患を理解し、生体全体の中に位置づけ、その予防、診断、治療の方法を開発し、健康を維持増進させる学問なのです。東北大学歯学部の卒業生は、考える歯科医となり、最善の診療・研究・教育に日夜邁進しています。

参考

歯学の歴史と東北大学歯学部の歴史を詳しく知るには……

「歯の歴史類」(1981年 日本医療文化センター発行) ▶ 日本歯科歴史学会ホームページ <http://www.jsdh.org/>
▶ 東北大学歯学部同窓会ホームページ <https://www.tohoku-dent-alum.jp/>

東北大学歯学部の歩み

- 1965年 歯学部設置
- 1967年 歯学部附属病院開設
- 1972年 大学院歯学研究科設置
- 2000年 歯学研究科整備（重点化）
- 2003年 東北大学病院創設
- 2004年 修士課程設置
- 2010年 病院統合完了
- 2017年 指定国立大学認定

歯学部創設50周年記念



白鉢巻に白晒し、口には含み紙をして、大崎八幡宮に
記念事業の成就を祈願した（2015年1月14日）

歯学部 of 教育目標

研究第一、門戸開放、実学尊重を掲げる **研究中心大学**（東北大学）に設置された **歯学部** として、
研究心と高い倫理観を具備し、全人的な見地から人々に貢献しうる **歯科医師**、世界をリードする **研究者・教育者** となる人材を育成する。



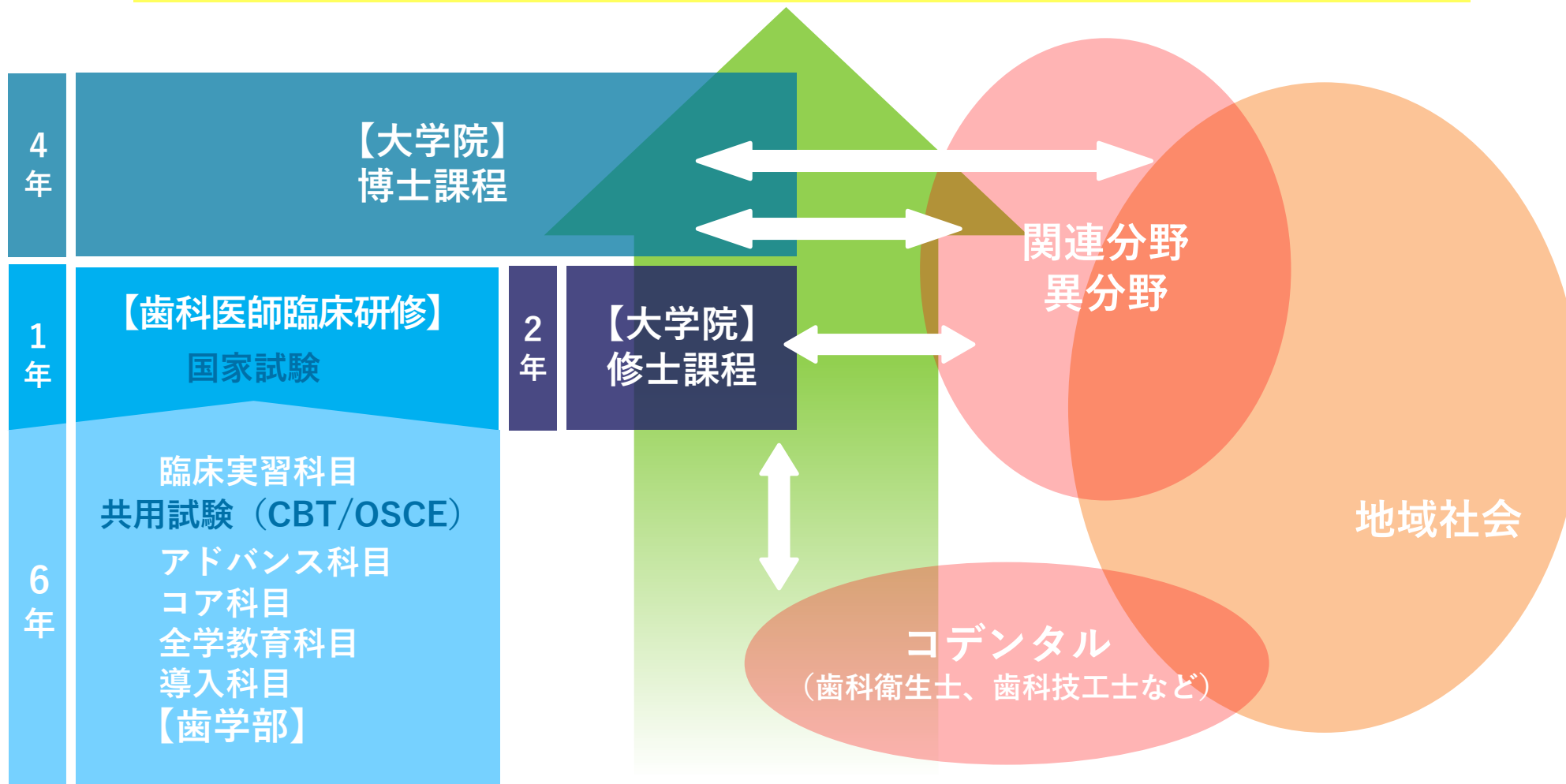
TOHOKU UNIVERSITY

歯学部・大学院歯学研究科の教育

世界へ

地域へ

高度専門職業人、教育・研究・行政者等としての指導的・中核的人材





教育の体制

エコロジー歯学講座

- 口腔生化学分野
- 口腔微生物学分野
- 口腔分子制御学分野
- 歯内歯周治療学分野
- 歯科保存学分野

病態マネジメント歯学講座

- 口腔生理学分野
- 歯科薬理学分野
- 口腔病理学分野
- 歯科医用情報学分野
- 顎顔面口腔再建外科学分野
- 顎顔面口腔腫瘍外科学分野
- 歯科口腔麻酔学分野
- 総合歯科診療部

歯学イノベーションリエゾンセンター

- ・先端教育開発部門
- ・国際連携推進部門
- ・異分野共創部門
- ・データサイエンス部門

環境歯学研究センター

先端再生医学研究センター

インターフェイスプロジェクト支援室

地域共生社会歯学講座

- 国際歯科保健学分野
- 歯科法医学情報学分野
- 予防歯科学分野
- 小児発達歯科学分野
- 頭蓋顔面先天異常学分野
- 顎口腔矯正学分野

リハビリテーション歯学講座

- 口腔器官解剖学分野
- 顎口腔組織発生学分野
- 歯科生体材料学分野
- 顎口腔機能創建学分野
- 口腔システム補綴学分野
- 分子・再生歯科補綴学分野
- 加齢歯科学分野

協力講座

- 口腔腫瘍病態学講座（加齢医学研究所）
- 口腔腫瘍制御学分野
- 機能画像歯科学分野

新生体素材学講座（金属材料研究所）

- 生体融合素材学分野
- 生体機能素材学分野

生体再生歯工学講座（医工学研究科）

- 歯科生体歯工学分野

連携講座

- 長寿口腔科学講座（国立長寿医療研究センター）
- 口腔免疫病態制御学講座（国立国際医療研究センター研究所）

寄附講座

- 次世代歯科材料工学寄附講座
- 先端フリーラジカル制御学寄附講座

大学病院

- 総合地域医療研修センター

東北メディカル・メガバンク機構

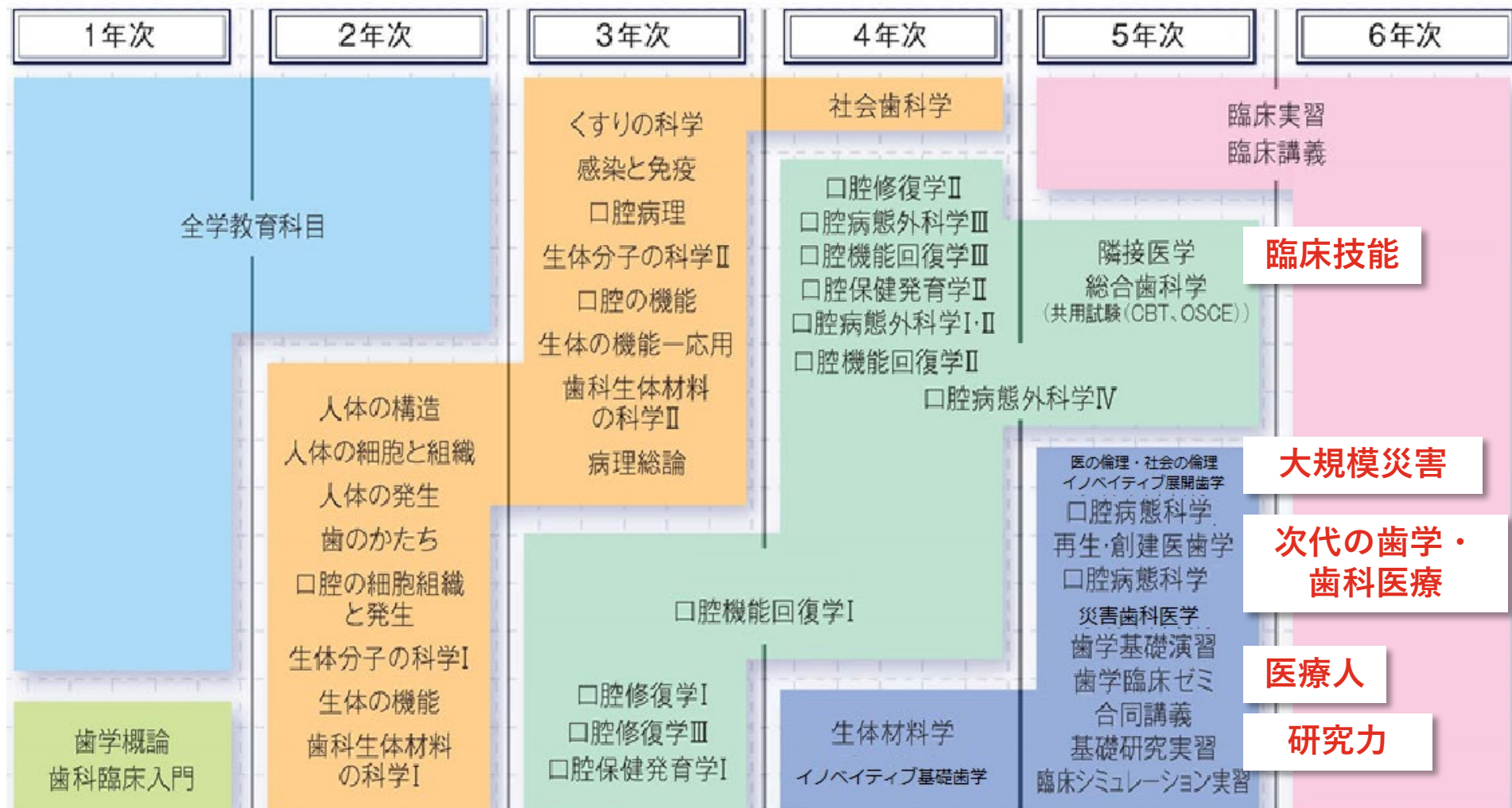
- 災害科学国際研究所

教授会・研究科委員会
 ・ 執行部、
 大学院教務委員会、
 学部教務委員会、
 各種委員会等
 事務機構



歯学部 6年間のステップ

国際交流科目 国際性



*全学教育科目 ■、導入科目 ■、コア科目 [基礎歯学] ■、コア科目 [臨床歯学] ■、アドバンス科目 ■、臨床実習科目 ■



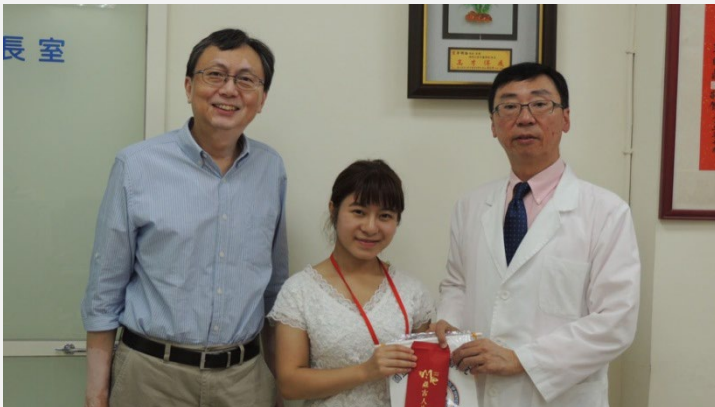
国際交流科目（短期留学）



四川大学国際交流キャンプ
中国・四川大学派遣
2017年7月2～14日



JASSO海外短期留学派遣支援
プログラム
タイ・チュラロンコーン大学
派遣
2017年8月2～11日



JASSO海外短期留学派遣支援プログラム
インドネシア・アイルランガ大学派遣
2017年9月3～12日



TOHOKU
UNIVERSITY

国際交流科目（短期留学）

2022年度CA+inD春季海外短期留学派遣プログラム
(2023年2月17日～3月19日)

韓国の学生との交流の様子（延世大学）



チュラロンコン大学での病院見学の様子



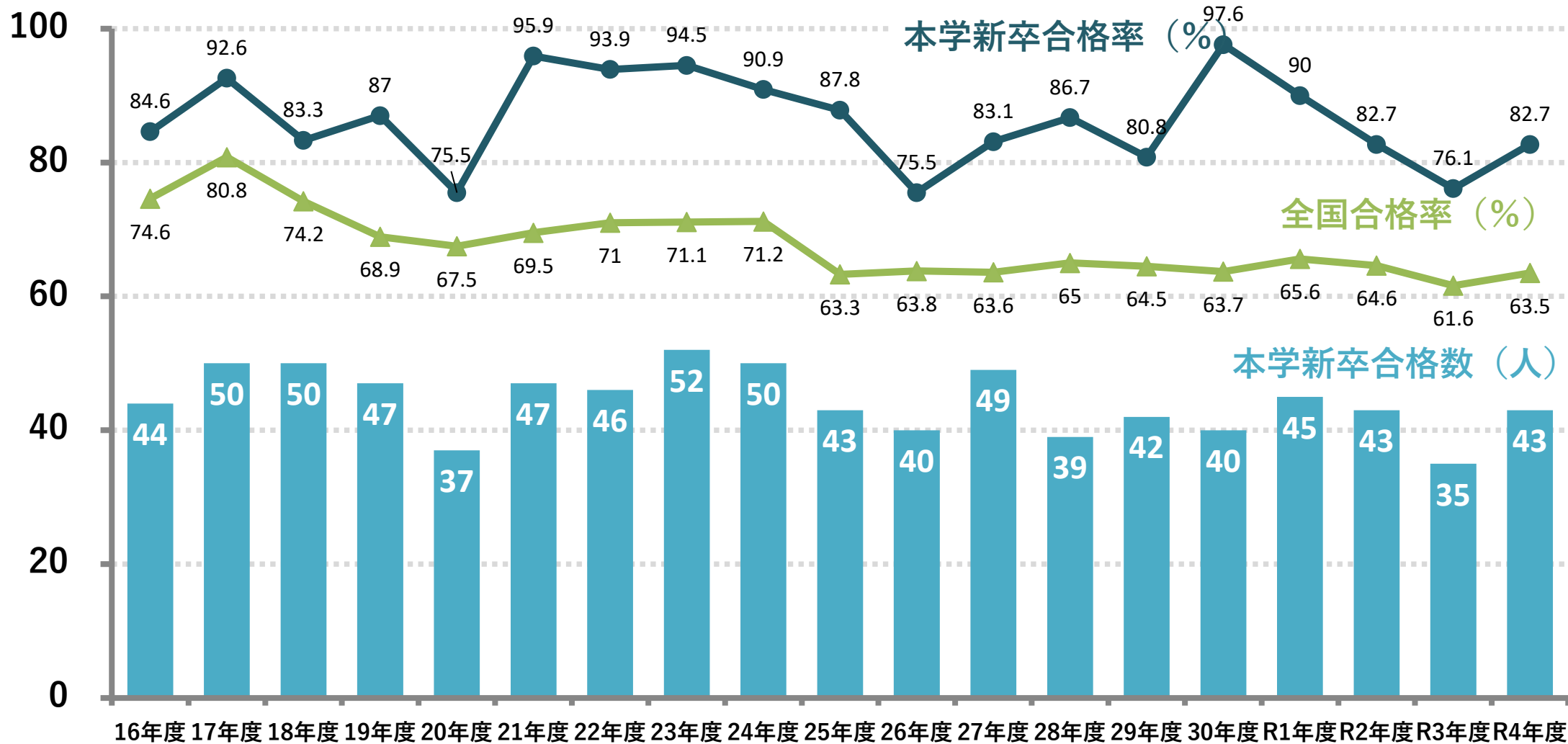
インドネシア大学の学生との文化体験の様子

2022年度CA+inD春季海外短期留学受入プログラム (2023年2月6日～17日)





歯科医師国家試験の合格状況



歯学部の入試

合格の場合に入学を確約できる

H30年度導入

AO入試Ⅱ期

AO入試Ⅲ期

一般選抜前期

筆記試験

面接試験

共通テスト

面接試験

共通テスト

個別学力試験

R4年度～募集人員変更

AO入試Ⅱ期: 8→6

AO入試Ⅲ期: 8→10

6名

10名

37名

一つの高校からの志願者の人数に制限はない

AO入試Ⅱ期

AO入試Ⅲ期

募集人員

6名

10名

出願資格

現役生

※令和5年度に高校3年生の方

現役生・一浪生

※令和5年3月から令和6年3月までに
卒業または卒業見込みの方

出願要件

① 調査書の学習成績概評が**A段階**

② **合格の場合に入学を確約できる**

③ 数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学A・数学Bを履修（理数科は理数数学Ⅰ・理数数学Ⅱ・理数数学特論）

④ 物理・化学・生物から2科目以上履修（理数科は理数物理・理数化学・理数生物から2科目以上）

（③・④の科目名が高等学校等で履修できない場合は個別に判断します）

① 大学入学共通テストにおいて、指定する教科・科目を受験した方

② **合格の場合に入学を確約できる**

③ 数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学A・数学Bを履修（理数科は理数数学Ⅰ・理数数学Ⅱ・理数数学特論）

④ 物理・化学・生物から2科目以上履修（理数科は理数物理・理数化学・理数生物から2科目以上）

（③・④の科目名が高等学校等で履修できない場合は個別に判断します）

選抜方法

筆記試験の成績、面接試験の結果を総合して合格者を決定

[第1次選考] 筆記試験

[第2次選考] 面接試験

（出願書類の評価は面接点に含める）

出願書類の内容、
大学入学共通テストの成績、
面接試験の結果を総合して合格者を決定

どんな学生の入学を期待しているか

- ◆ 本学の教育理念に照らし、人物的に優れた人
- ◆ 基礎学力に優れた人
- ◆ 豊かな人間性と高い倫理観を備え、旺盛な知的探究心を持つ人
- ◆ 国際的視野から柔軟な思考能力のもと歯学研究に意欲を持ち、歯学・歯科医療を基盤として多様な分野で活躍しようとする人

歯学を学ぶ意欲に燃え、
学校長から高い評価を得ている者

【第1次選考】

すべての志願者を対象に筆記試験(①～③)を実施

- ①数理的思考力の評価
- ②自然科学分野の基礎的理解度と論理的思考力の評価
- ③志願学部に関わる学問への関心及び英文理解力・英文表現力などの評価

【第2次選考】

第1次選考合格者に面接試験を実施

【配点】

試験の区分	筆記試験	面接試験	合計
第1次選考	400	-	400
第2次選考	800※1	200※2	1000

※1 第1次選考で実施した筆記試験の成績を用いる

※2 出願書類の評価は面接点に含める

どんな学生の入学を期待しているか

- ◆ 本学の教育理念に照らし、人物的に優れた人
- ◆ 歯学・歯科医療の知識や技能を十分に修得できる基礎学力を備えた人
- ◆ 豊かな人間性と高い倫理観を備え、旺盛な知的探究心を持つ人
- ◆ 歯学・歯科医療を通し人類の健康福祉に貢献する強い意志と行動力を備え、指導的立場で活躍しようとする人

歯学を学ぶ意欲に燃える人

出願書類

志願者評価書、志願理由書、活動報告書、調査書

大学入学共通テストの成績

面接試験

以上の結果を
総合して選抜

【第1次選考】

志願者数が募集人員を大幅に上回る場合に大学入学共通テストの成績を用いて実施

【第2次選考】

第1次選考合格者に面接試験を実施

R6年度～配点変更
共通テスト:850→900
面接試験:200→250

【配点】

試験の区分	共通テスト	面接試験	合計
第2次選考	900	250※	1150

※ 出願書類の評価は面接点に含める

各科目の配点も変更しております。
 国語: 100→200
 地理歴史・公民: 50→100
 理科: 300→200

指定する「**5教科 7科目**」を受験してください。

大学入学共通テストの受験を要する科目と配点（合計900点）

200	100						200				200			200											
国語	地理歴史						公民			数学①		数学②		理科			外国語								
国語	世界史A	世界史B	日本史A	日本史B	地理A	地理B	現代社会	倫理	政治・経済	倫理、政治・経済	数学Ⅰ	数学Ⅰ・数学A	数学Ⅱ	数学Ⅱ・数学B	簿記・会計	情報関係基礎	物理	化学	生物	地学	英語	ドイツ語	フランス語	中国語	韓国語
◎		○		○		○				○		◎		○	○	○	○	○	○		◎				

1科目選択

普通科
理数科
以外

2科目選択

▲英語を指定
 リディング 150
 リスニング 50

どんな学生の入学を期待しているか

- ◆ 本学の教育理念に照らし、人物的に優れた人
- ◆ 歯学・歯科医療の知識や技能を十分に修得できる基礎学力を備えた人
- ◆ 問題解決や知識追求に高い意欲を持つ人
- ◆ 多様な価値観を受容する柔軟性、幅広い視野と豊かな感性を持ち、将来医療に携わる者として相応しい人

歯学を学ぶ意欲に燃える人

令和6年度大学入学共通テストの
5教科7科目を受験した者



出願資格

- (1) 高等学校又は中等教育学校を卒業した者及び令和6年3月に卒業見込みの者
- (2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者及び令和6年3月に修了見込みの者
- (3) 学校教育法施行規則第150条の規定により高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者及び令和6年3月31日までにこれに該当する見込みの者

主体性評価チェックリストの内容

学力検査の成績

大学入学共通テスト、個別学力試験

面接試験※の成績

以上の結果を
総合して選抜

※令和3年度入試から新たに導入しました。

一般選抜

配点

大学入学共通テスト の受験を要する科目 合計450点	100	50						100			100				100											
	国語	地理歴史						公民			数学①	数学②			理科				外国語							
	国語	世界史A	世界史B	日本史A	日本史B	地理A	地理B	現代社会	倫理	政治・経済	倫理、政治・経済	数学Ⅰ	数学Ⅰ・数学A	数学Ⅱ	数学Ⅱ・数学B	簿記・会計	情報関係基礎	物理	化学	生物	地学	英語	ドイツ語	フランス語	中国語	韓国語
◎		○		○		○				○		◎		○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○

個別学力試験の 実施科目 合計850点	250					250			250		100
	数学					理科			外国語		面接
	数学Ⅰ	数学Ⅱ	数学Ⅲ	数学A	数学B	物理基礎	化学基礎	生物基礎	英語	英語表現Ⅱ	※面接試験
◎	◎	◎	◎	◎	○	○	○	◎	◎	◎	

1科目選択
 普通科
 理数科
 以外
 2科目選択
 1科目選択

総合点
 共通テスト + 個別学力試験
450 + 850 = 1,300

※令和3年度入試から新たに導入しました。

AO入試Ⅱ期

出願

10月中旬

第1次選考試験

11月上旬

第1次選考結果発表

11月中旬

第2次選考試験

11月中旬

合格発表

11月下旬

日程が変更される可能性もあります。

AO入試Ⅲ期

出願

1月中旬

第1次選考結果発表

2月上旬

第2次選考試験

2月上旬

合格発表

2月上旬

一般選抜前期

出願

1月下旬～2月上旬

第1段階選抜結果発表

2月上旬

第2次選考試験

2月25日～26日

合格発表

3月上旬

大学入学共通テスト 1月13日～14日



令和5年度入学者選抜状況

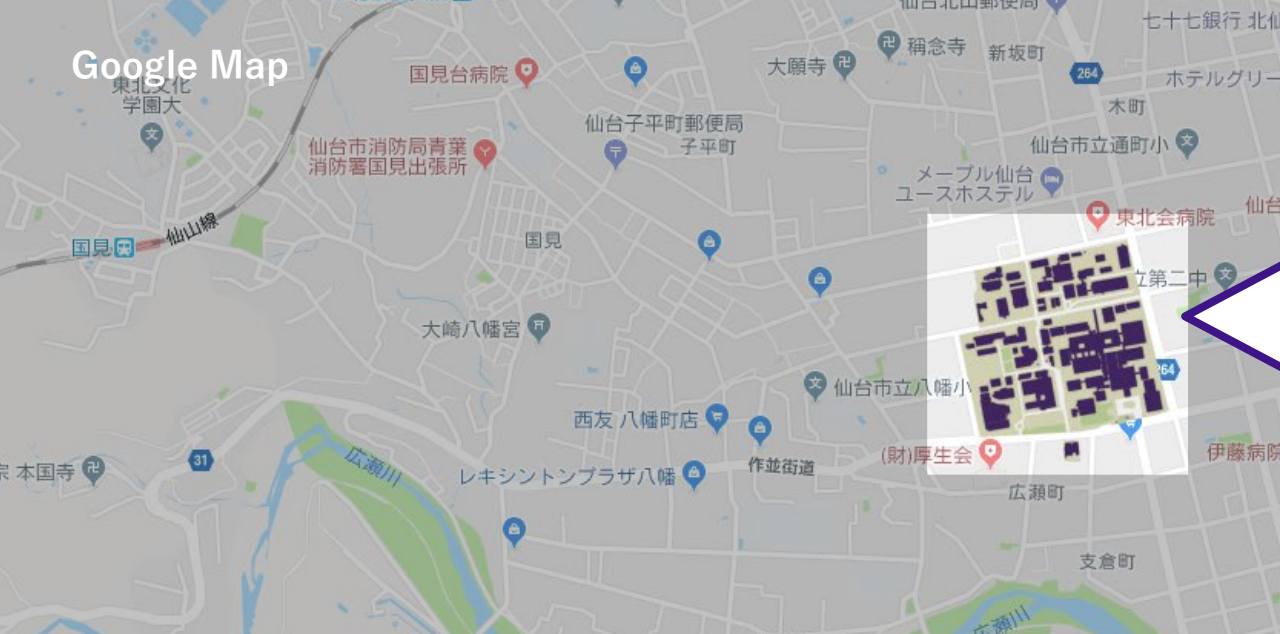
	募集人員	志願者		倍率	受験者		合格者	
			()			()		()
AO入試Ⅱ期	6	19	(12)	3.2	19	(12)	7	(5)
AO入試Ⅲ期	10	22	(16)	2.2	22	(16)	9	(6)
私費外国人入試	若干名	3	(1)	—	3	(1)	2	(0)
一般選抜前期日程	37	146	(61)	3.9	126	(52)	37	(14)
合計	53	190	(90)	—	170	(81)	55	(25)

()は女子学生で内数

令和5年度入学者の出身地

出身地方	(%)
北海道	3.7
東北	33.4
関東	18.5
東京	14.8
北陸	3.7
中部	14.8
近畿	7.4
中国	0.0
四国	0.0
九州・沖縄	0.0
その他	3.7

Google Map



星陵キャンパス

歯学部

病院



▲歯学部入口

上空から見た大学病院と歯学部

歯学部

病院



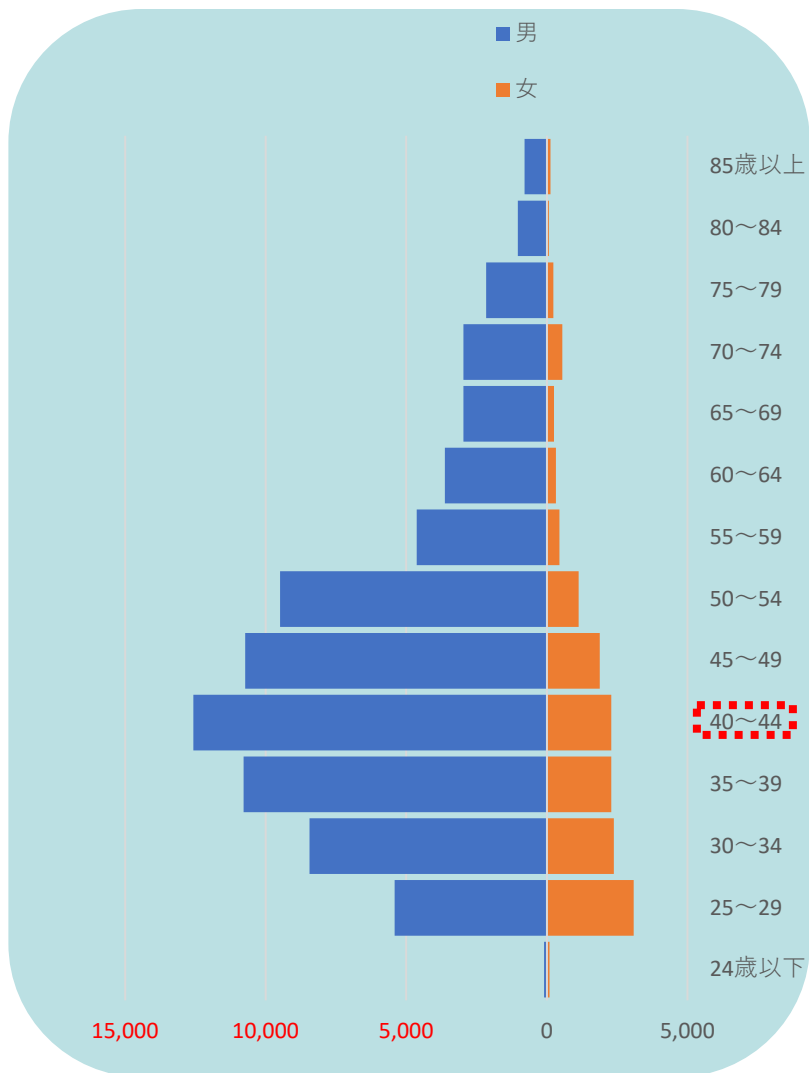
▲木町通りからみた大学病院

歯学部のある星陵キャンパスには、ほかに医学部・加齢医学研究所・大学病院を擁し、東日本の医歯学研究・教育と先端医療の一大拠点を形成しています。

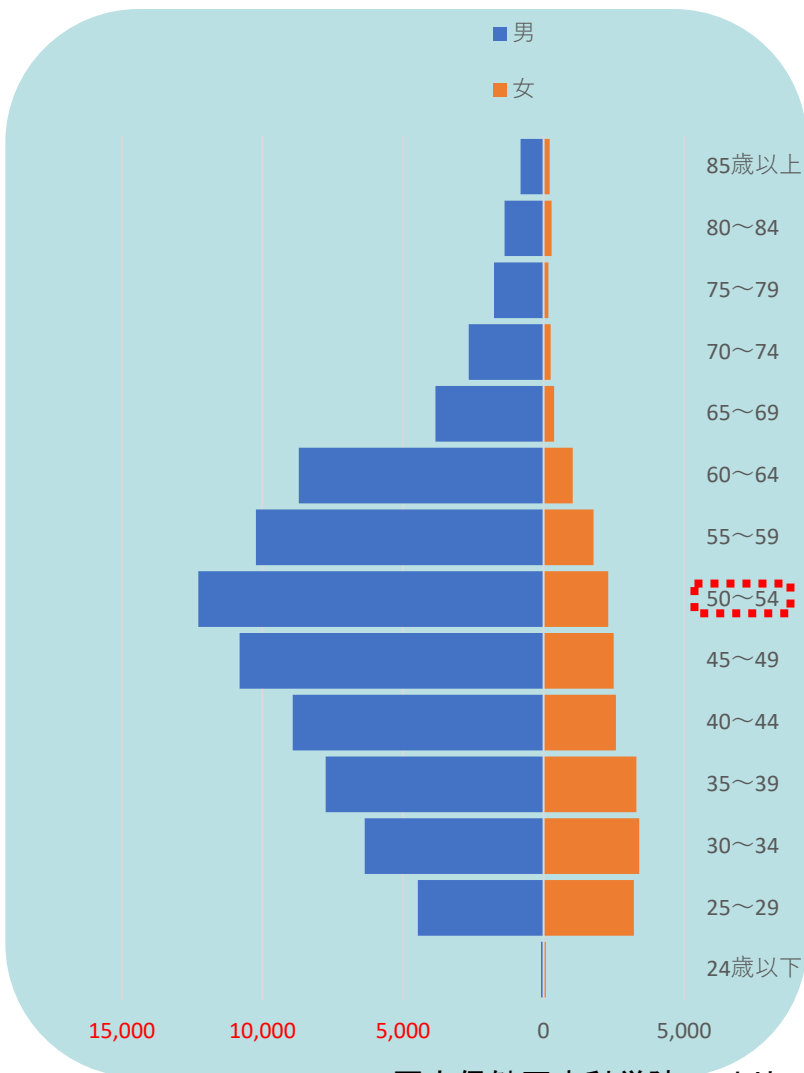


歯科医師の人口ピラミッド：60歳前半の歯科医師が多い

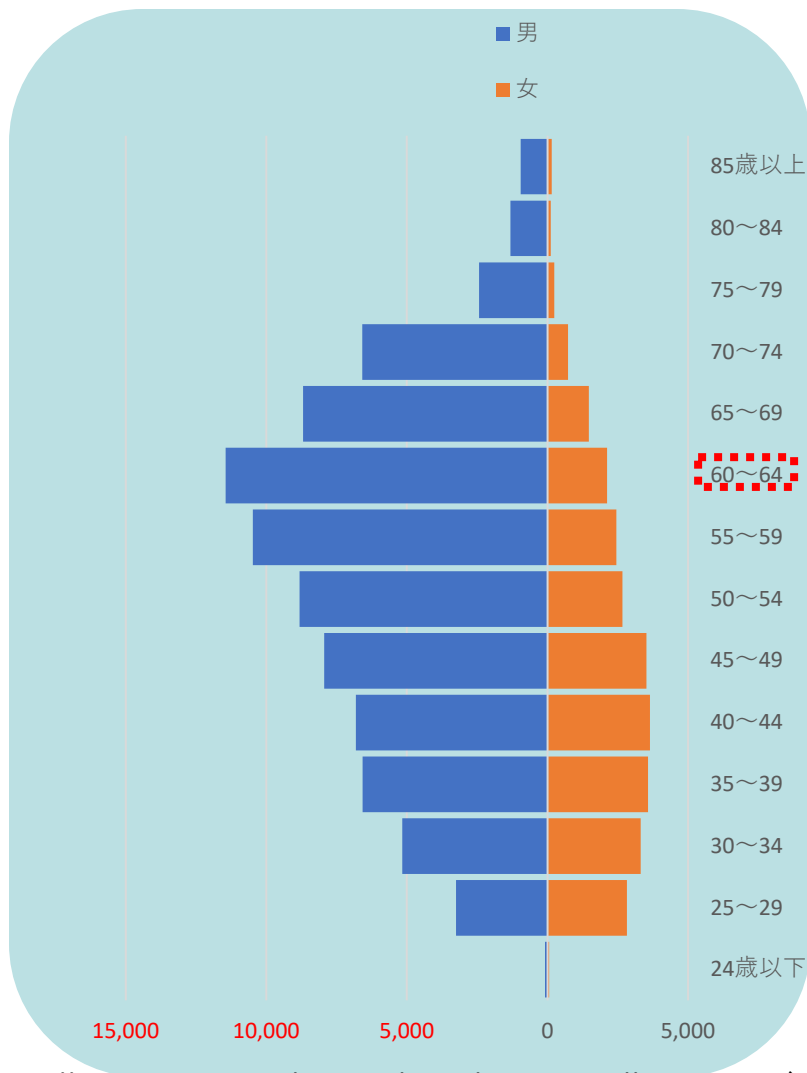
2000年



2010年



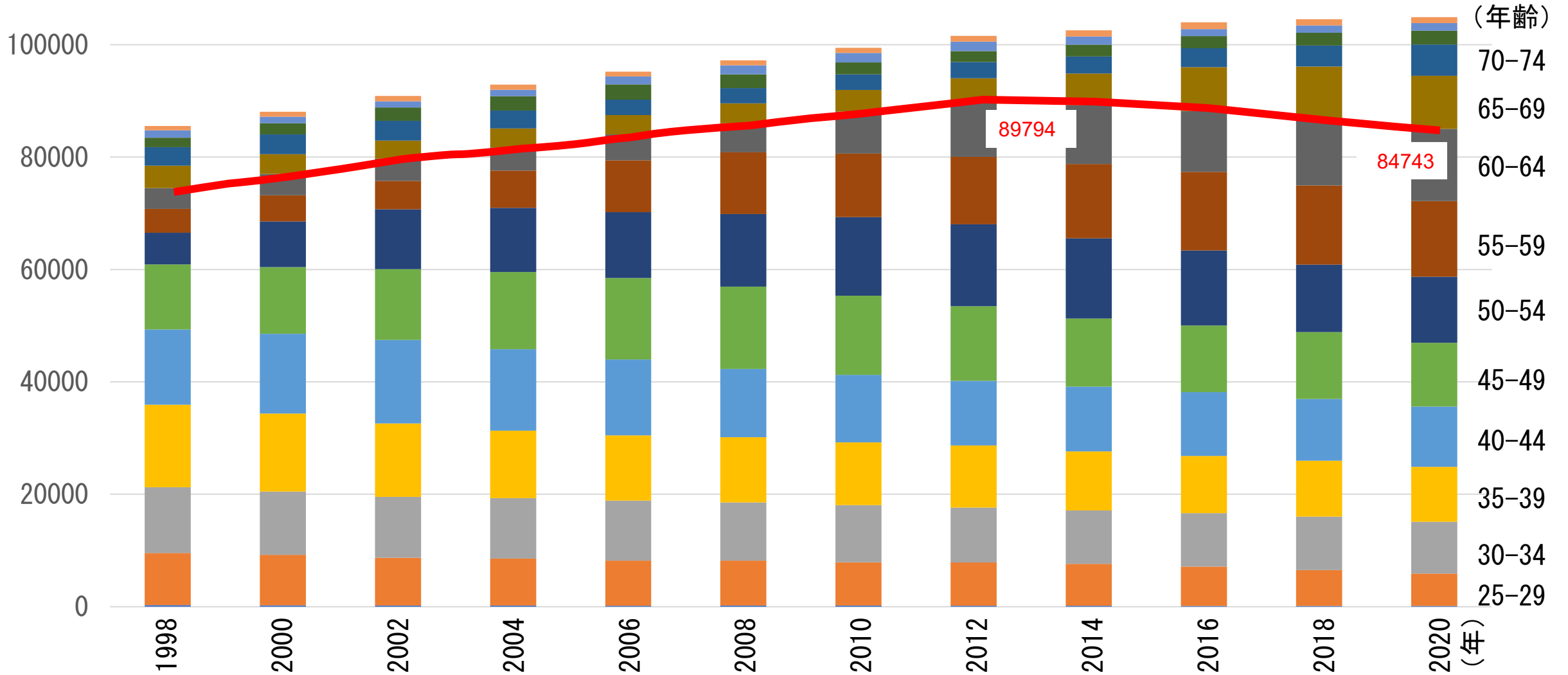
2020年



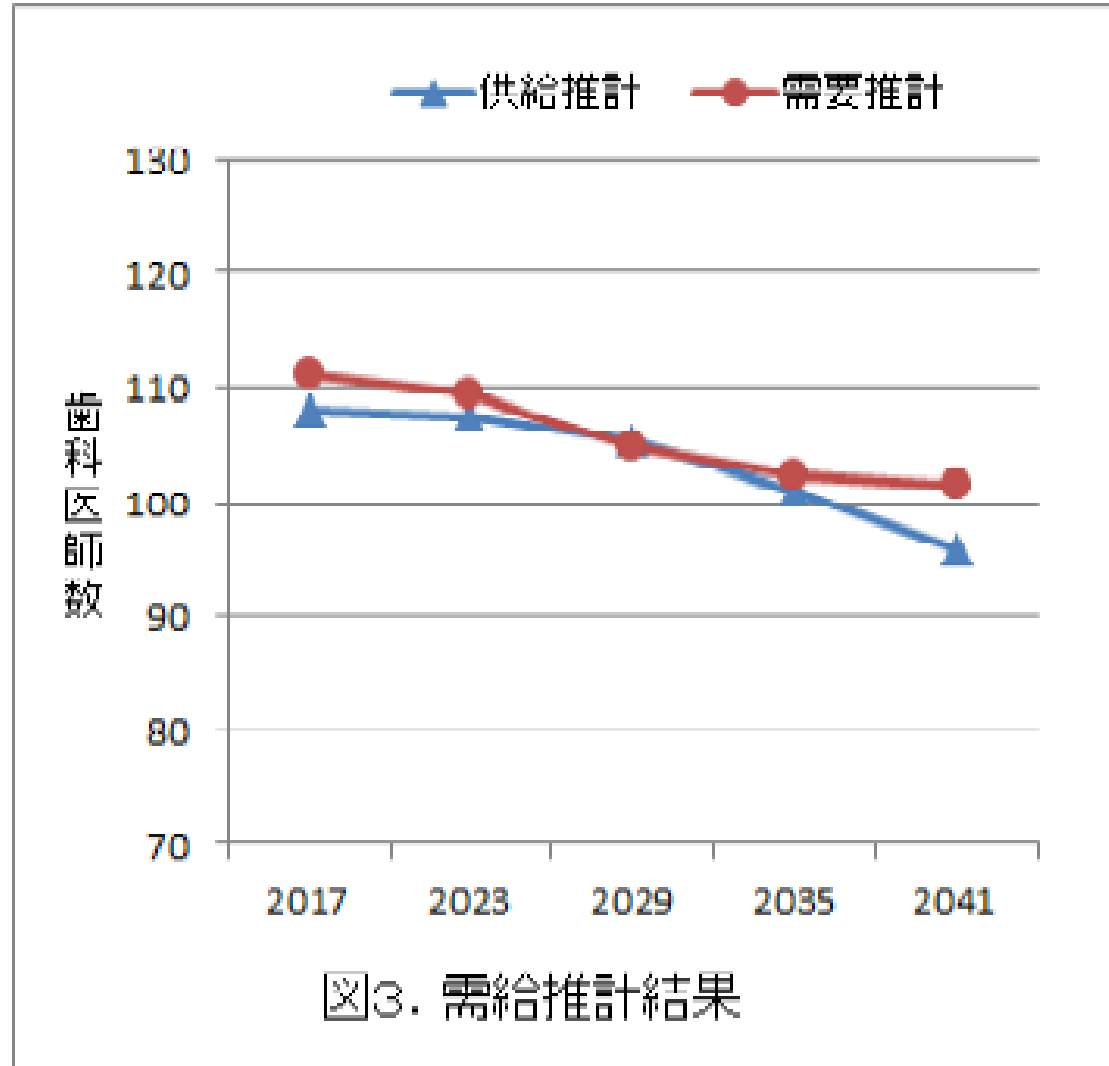
歯科医師数の減少：65歳未満の歯科医師数は減少傾向

120000(人)

国立保健医療科学院HPより (<https://www.niph.go.jp/soshiki/koku/oralhealth//data7.html>) 作成



歯科医師の需給バランス：歯科医師不足の時代が来る



需給推計結果 (2015. 11. 18
第3回需給WG用) 安藤雄一
(国立保健医療科学院)

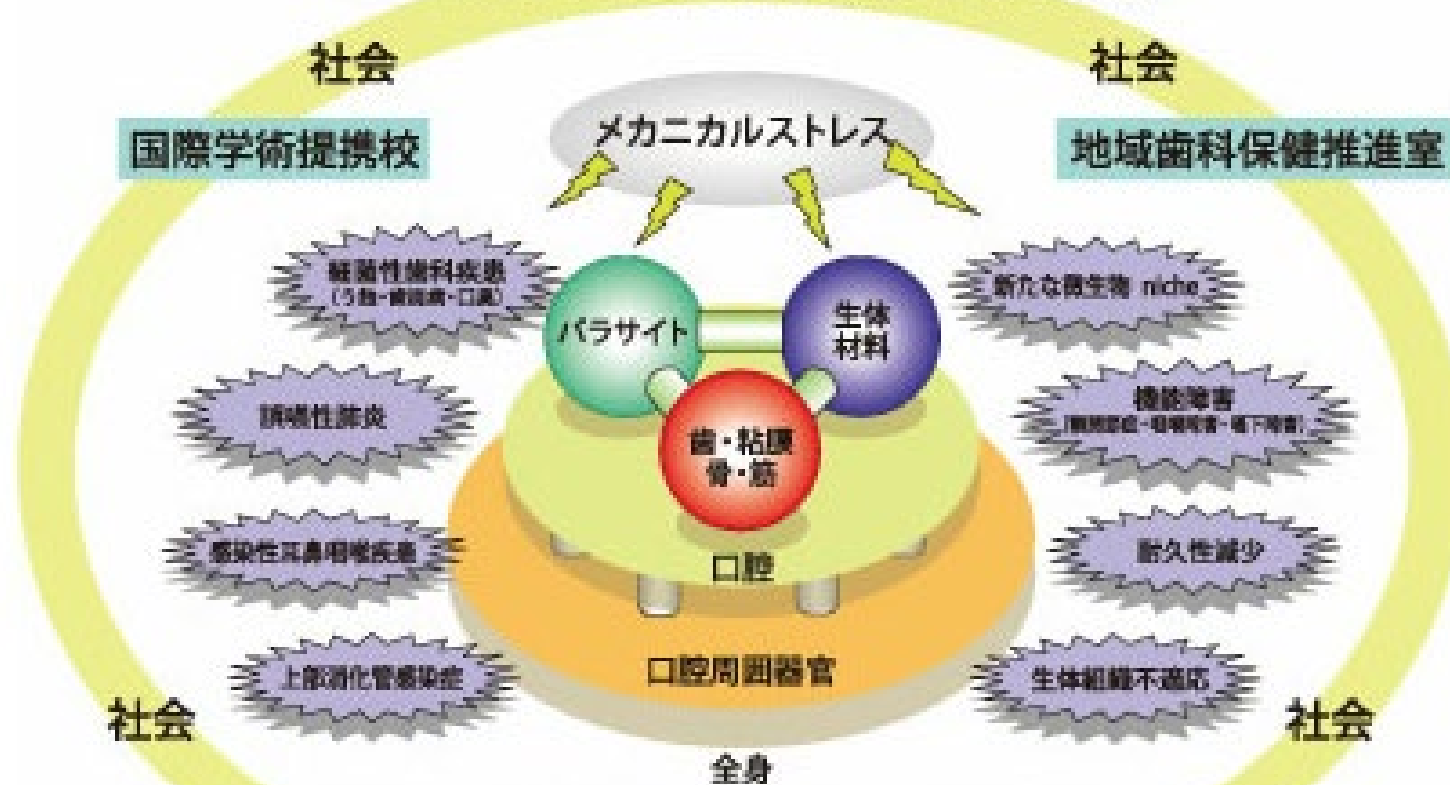
なくならない職業トップ20

レクリエーションセラピスト
最前線のメカニック、修理工
緊急事態の管理監督者
メンタルヘルスと薬物利用者サポート
聴覚医療従事者
作業療法士
義肢装具士
ヘルスケアソーシャルワーカー
口腔外科
消防監督者
栄養士
施設管理者
振り付け師
セールスエンジニア（技術営業）
内科医と外科医
指導（教育）コーディネーター
心理学者
警察と探偵
歯科医師
小学校教員

(2014年、マイケル・A・オズボーン
[オックスフォード大学] より)

歯学部の特徴①：歯学の新概念を提唱

インターフェイス口腔健康科学 Interface Oral Health Science



健全な口腔機能は、システム間インターフェイスの調和の上に成り立つ
(Host-Parasite, Parasite-Biomaterial, Biomaterial-Host Interfaces)

口腔の健康は、社会の中で増進される (Social Interface)

歯学部の特徴②：海外有力大学と連携（文科省のサポート）

大学の世界展開力強化事業 ～アジア高等教育共同体形成促進～

日本のリーダーシップ



文理異分野連携型教育
産学官国際連携型教育

IOHS教育・研究基盤



CAMPUS Asia+ in Dentistry

歯学部の特徴③：卒業生が歯科医師以外の職業でも活躍

- 厚労省の歯科保健課の中で東北大学歯学部出身者が最多
- 地方自治体の健康医療福祉部などで保健行政に従事
- 国際政治学者（TVコメンテーターとして有名）
- 米国証券会社社員
- 日本国内の大学教授多数（歯学部、医学部や研究所教授）
- 海外の大学教員（ハーバード大学、シドニー大学など）

東北大学歯学部

**Tohoku University
School of Dentistry**

